

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29218	教育方法論	佐々木 竜太	2年次・前期	講義・2単位	幼免必修

授業の概要 / Course Outline
<p>幼稚園生活の中で、幼児一人ひとりの自発性・主体性を促す「環境を通して行う教育」、「遊びを通しての総合的な指導」という幼児教育(保育)の方法的基盤について、歴史的変遷や幼稚園教育要領での定義等から学び、それを踏まえた様々な保育形態、さらに近年注目されている情報機器を活用した保育、小学校と連携した教育方法について講義する。その際は、事例を踏まえながら、実践的な視点を重視する。それらの学びを基礎に指導案の作成、模擬保育の実践をし、最終的には、自らの幼児教育観をより深め、幼稚園教諭としての第一歩を踏み出す意識を持つことにつなげたい。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
幼児教育の方法的基盤である環境を通して行う教育、遊びを通しての指導について理解する。	A-② B-②
様々な保育形態とその意義について理解する。	A-② B-②
情報機器を活用した保育とその課題について理解する。	A-② B-②
小学校と連携した幼稚園における教育方法とその課題について理解する。	A-② B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	80%	講義内容の理解を問う
レポート試験 Report Examination	20%	授業中に行うリアクションペーパー
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	0%	

教科書 / Textbooks
使用しない。毎授業時にレジュメを配布する。

参考書 / Reference Books
大豆生田啓友・渡邊英則編『保育方法・指導法』(2020年、ミネルヴァ書房)、師岡章『幼児教育の指導法』(2015年、放送大学教育振興会)、佐伯胖『幼児教育へのいざない』(増補改訂版)(2014年、東京大学出版会)、幼稚園教育要領(平成29年告示)、保育所保育指針(平成29年告示)

予習・復習 / Preparation・Review
<p>今回の講義で使用する資料は事前に配布するので資料をよく読み、講義に臨むこと(予習:90分)。また授業時に資料に書いた内容を復習し、授業内に紹介した参考文献に目を通して復習すること(復習:90分)。</p>

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
最終授業時に全体に対して課題に対するフィードバックを行う。

その他 / Others

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション
	幼児期の教育の基本となるものについて確認する。
02	幼児教育方法の歴史と理論(1)
	西洋における幼児教育方法の歴史と理論について理解する。
03	幼児教育方法の歴史と理論(2)
	日本における幼児教育方法の歴史と理論について理解する。
04	環境を通して行う教育
	保育現場における環境、それを通して行う教育実践について理解する。
05	主体的な遊びを通しての指導
	子どもの主体性を大切にしたい指導のあり方について理解する。
06	遊びの中の学び
	遊びの中から学びへつなげるための指導のあり方について理解する。
07	保育の形態
	設定保育と自由保育について理解する。
08	情報機器を活用した幼児教育
	ICTを活用した保育活動、そのメリット・デメリットについて理解する。
09	保育現場における行事活動の意義
	行事活動の種類、内容、意義について理解する。
10	保育現場における評価の方法
	保育における評価と具体的方法、ポイントについて理解する。
11	小学校との連携を踏まえた教育方法
	小学校との連携の背景、実態、方法について理解する。
12	家庭・地域と連携した教育方法
	家庭・地域との連携の背景、実態、方法について理解する。
13	指導案の書き方と作成
	指導案の書き方のポイントについて理解する。
14	指導案をもとにした模擬保育の実践
	作成した指導案をもとに、実践をする。
15	模擬保育の振り返り
	実践を振り返り、反省点を踏まえ指導案を修正する。